

次期「我が国の地球観測の実施方針」 骨子案

令和 6 年 5 月

I. はじめに

- ・ 実施方針の期間

II. 我が国の地球観測の基本的考え方

1. 地球観測の 10 年間の成果
2. 地球観測を取り巻く現状と課題
 - ・ 地球観測を取り巻く国内外の現状
 - ・ 地球観測を取り巻く課題
3. 地球観測の基本的考え方
 - ・ 我が国が地球観測を推進する意義
 - ・ ユーザーニーズを踏まえた利活用の促進
 - ・ 異分野連携の促進
 - ・ 全てのユーザーへのデータ・アクセスの確保
 - ・ 官民の連携・役割分担

III. 地球観測の実施に向けた基盤的取組

1. 持続可能な地球観測の推進
 - (1) 地球観測インフラの着実な整備
 - ・ 長期持続性を支えるビジネスモデル
 - ・ 宇宙分野のインフラ整備
 - ・ 海洋分野のインフラ整備
 - ・ 陸域におけるインフラ整備
 - ・ データアーカイブ技術
 - (2) 地球観測人材の育成（市民科学を含む）
 - ・ 人材育成
 - ・ 市民科学
2. データバリューチェーンを通じた地球観測の利活用の促進
 - (1) データバリューチェーンの実現

- ・ 気候変動予測データの創出・高度化
- (2) データ共有の仕組みとプラットフォームの在り方
 - ・ データ共有の仕組み
 - ・ データの統合化・プラットフォーム間連携の促進
- (3) オープンデータと情報管理
 - ・ オープンデータ・オープンアクセス
 - ・ データの質・信頼性・トレーサビリティの確保
 - ・ 情報セキュリティ・安全保障
 - ・ データの管理の責任と規制
- 3. 最先端のイノベーションに基づく地球観測の利活用の促進
 - (1) 気候変動予測データの創出・高度化に向けた環境整備
 - ・ 気候変動予測データの創出に向けたシステムの最適化
 - ・ スパコン
 - (2) デジタルツインの構築
 - (3) AI 等の活用
- 4. 国際協力を通じた我が国の地球観測分野のリーダーシップの発揮
 - (1) 地球規模課題解決への協力
 - (2) GEO への協力
- 5. 我が国の地球観測システムの推進体制・組織
 - (1) 地球観測の推進体制
 - (2) 関係府省庁・組織の連携

IV. 分野別の地球観測

1. 気候変動
2. 防災・減災
3. 生物多様性・生態系の保全
4. 海洋環境・資源の保全
5. 食料・農業資源の確保
6. 水資源管理
7. エネルギー・鉱物資源の確保
8. 健康
9. 科学技術の発展